

臨床研究に関する情報公開（一般向け）

「多発性肝嚢胞患者の全国疫学調査」へのご協力をお願い

研究機関名 松阪中央総合病院

研究責任者 稲垣悠二

1) 研究の概要

多嚢胞性肝疾患には、常染色体優性多嚢胞腎と関連して発症する場合と、腎嚢胞の合併のない多発性肝嚢胞があります。無症状のことが多く、また、遺伝的な要素があることが知られていますが、本邦における有病率や症状など不明な点が多いです。

多発性肝嚢胞患者の全国疫学調査を行ない、有症状の多発性肝嚢胞症の有病者数を推定するとともに、臨床疫学像を明らかにし、重症度分類を含む治療指針の策定を目指します。

2) 研究の方法

2021年1月1日から2023年12月31日までの間に、当院の消化器内科で症状のあった多発性肝嚢胞症の患者を対象とします。電子カルテから診療情報、血液検査所見、画像所見を収集します。匿名化した臨床情報を研究事務局（東海大学医学部）宛に送付します。

3) 個人情報の保護

研究に使用する情報から個人を特定できるものを削除します。学会および論文発表において対象者を特定できる個人情報は使用しません。

4) 研究資金源・利益相反

本研究は、厚生労働省難治性疾患政策研究事業難治性の肝胆道疾患に関する調査研究の研究費を得て実施します。これにより研究実施の透明性や結果の信頼性が損なわれることがないことを確認します。

問い合わせ先

松阪中央総合病院 消化器内科 稲垣悠二

電話：0598-21-5252